

高齢者雇用について

1. 高齢者雇用について

非常に重要と思います。高齢者については「健康寿命の延長」が重要と言われていますが、次の段階では「活動寿命の延長」こそ、重要と思います。不幸にして健康でなくても「社会参加」し、「社会活動」し、「社会貢献」できれば、本人、社会の双方の活性化に資すると思います。この3つを同時にできるのが就業です。

日本の高齢者は非常に高い知識、技能を持った重要な「人的資源」です。ただ、激変しつつある社会環境の変化、情報革命に取り残されがちです。そういう点を補って、シニアに大いに活躍してもらおう環境を作ることこそ必要と思います。

1. 高齢者雇用のあるべき姿

- 1) 単なる「人手不足の穴埋め」「助成金目当て」等の後ろ向きな雇用であってはならない。高齢者の持てる知識、技能、伝承を、次世代やAIに教え、引き継げるような仕事であってほしい。若い世代による「ジジハラ」などのハラスメントがないように。
- 2) 若い人たちに、高齢者の持つ、いい意味での職業倫理、働く姿勢などを学んでもらいたい。
- 3) 消費者も高齢化しつつある。企業が真の高齢者のニーズをとらえるために、高齢の従業員に高齢者目線で「自社製品・サービス」をチェックしてもらう体制を作れる。
- 4) 給与所得のすべてが年金から差し引かれることがないように。働くことで「より良い生活」がエンジョイできるような制度であってほしい。

2. より良い「高齢者の就業」を目指して。

1) 十分な事前教育を

- ・今の社会を理解してもらう
ロボットとの共存の仕方、社会常識の変化（男女平等）などへの対応。
- ・ICTリテラシーの向上。

2) 高齢者が働きやすい環境づくりを

- ・パートタイム ・テレワーク など心身の状況に応じた勤務対応を
- ・心身の老化のサポートを容易にする「アシストスーツ」「電動階段運搬車」等の開発、活用を積極的にとりくむ。